



気象庁

京都地方気象台

Kyoto Local Meteorological Office, JMA

報道発表

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和3年11月24日
京都地方気象台

「顕著な大雪に関する気象情報」の運用を開始します

京都府を対象に、短時間に顕著な降雪が観測され、その後も強い降雪が続くと見込まれる場合に、短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける「顕著な大雪に関する気象情報」の運用を令和3年12月1日から開始します。

平成30年2月及び令和3年1月の北陸地方の大雪によって大規模な車両渋滞、滞留が発生するなど、近年の集中的・記録的な降雪が社会活動に及ぼす影響が大きくなっています。このような状況を踏まえて、気象庁では大雪時に危機感を伝える取組の強化を行っているところです。

京都地方気象台では、これまでに、大雪に対する事前の説明会の実施や関係機関との連携の強化、大雪に関する気象情報で「これまでに経験のない記録的な大雪」、「不要不急の外出は控えてください」などのキーワードを用いた、大雪に対する一層の警戒の呼びかけを行う取組を行ってきました。

今冬からは、これらの取組に加え、短時間に顕著な降雪によって深刻な交通障害の発生するおそれが切迫していることを伝える「顕著な大雪に関する気象情報」の運用を令和3年12月1日から開始します（別紙参照）。

これにより、関係機関の効果的な防災対応を支援します。

問合せ先：京都地方気象台 木守（防災気象官）
電話 075-841-3006

「顕著な大雪に関する気象情報」の概要

別紙

発表する状況

アメダス地点などで短時間に顕著な降雪を観測し、交通障害が大規模化・深刻化するおそれが高まってきている状況

発表対象と目安

発表目安：6時間降雪量35cmを観測し、さらに警報級の強い降雪が予想される場合



府県気象情報において、

- 「顕著な大雪に関する京都府気象情報」という標題
- 「見出し文」のみの短文形式
- 『記録的な短時間の降雪量（アメダスなどの実況）＋今後の予測』を簡潔に記述



「顕著な大雪に関する気象情報」の内容

顕著な大雪に関する京都府気象情報 第10号
令和3年〇月〇日〇時〇分 京都地方気象台発表

(見出し)

峰山で〇日〇時までの6時間で〇〇センチの顕著な降雪を観測しました。
この強い雪は〇日〇〇にかけて続く見込みです。丹後では、深刻な交通
障害の発生するおそれが高まっています。

(本文)

なし

- **大規模な車両渋滞、滞留が発生するおそれが切迫**していることを伝える情報です。
- **交通障害が深刻化するおそれが高まっている地域が「どこであるか」**を具体的に伝えます。
- **短文形式で**迅速に伝え、関係機関の効果的な防災対応を支援します。

段階的に発表される大雪に関する防災気象情報

